

Title: 迷いながらも一ツ事



池田 篤彦
1984年東京生まれ茨城育ち。
神奈川県住。
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での体感を大切にして、大いに悩みながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

191(183+8)日FW

(2012.09.22)

途程に

(2012.09.22)

当夜の食

(2012.09.21)

異変る日茶の中で

(2012.09.20)

2012年12月

2012年11月

2012年10月

2012年09月

2012年08月

2012年07月

2012年06月

2012年05月

2012年04月

2012年03月

[00]日本《プロローグ》

【-03/16】

[01]韓国

【03/17-03/23】

[02]台湾

【03/23-03/30】

[03]ベトナム

【03/30-04/15】

[04]カンボジア

【04/15-04/29】

[05]タイ

【04/29-05/15】

[06]マレーシア

【05/15-06/04】

[06]マレーシアSC1

【05/26-06/04】

[07]シンガポール

【06/04-06/10】

[07]マレーシア体森

【06/10-06/14】

[08]インド

【06/14-07/06】

[09]ネパール

【07/06-07/21】

[10]中国

【07/21-08/10】

[11]マレーシアSC2

迷いながらも一ツ事 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.22

191(183+8)日FW

[Tweet](#)

[Check](#)

ほかのメンバーに遅れること8日、191日ぶりに神奈川の自宅へと帰還です。

移動のために繰り返してきたバックパックのパッキング(荷造り)も本当にこれで最後。最初はとても時間がかかっていたのに、今では当時の半分以下の時間で完了です。



祖母と、昨日東京から彼岸に合わせて帰省した叔父に見送られ、義路を歩きます。



- [08/10-08/20]
- [12]西郷彰ベトナム
- [08/20-08/31]
- [13]西郷彰台湾
- [08/31-09/08]
- [14]西郷彰韓国
- [09/08-09/13]
- [15]日本・武生《エピソード》
- [09/14-09/22]
- [16]日本《After Story》
- [09/22]
- 撮影
- 機材・技術
- 発動
- 行先
- 訪問記
- 雑記
- 企画物写真

PRIMA 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

OLYMPUS SH-21



RSS 2.0

新幹線を使い神奈川のローカル線に乗り継ぐと一気に現実に、あたかも半年前からの断絶がなかったかのごとく、引き戻されて行く感覚です。



最寄駅から徒歩で自宅に向かっていると、旅立ちの日にここを通ったことがつい昨日のことのように感じられ、自分はほんとうにあのアジア各国の地に立っていたのだろうかと思うほどです。

19日ぶりの団楽には独り暮らししている妹も訪ねて来てくれ、これもまた半年前と同じように食卓に食事が並べられるのです。



「11」 外国を廻った自分のフィールドワークもひとまず終わりです。多くの人に助けられながら送り出してもらい、また支えられながら無事に自宅に帰還することが出来ました。

日常になっていた非日常がまた非日常になり、いま再び非日常になっていた日常へと帰っていきます。

この半年多くのことに出会い、そのたびに自分自身のことについても向き合うことが出来ました。

くした。
日常へと戻っていきつつある今、自分の中の言葉にならない感情と向かが確かに変わった
実感を胸に、期間中毎日更新を続けてきたこの場に一つの区切りをつけようと思います。

カテゴリ: [\[15\]日本・旅生《エピソード》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
[\[16\]日本《After Story》](#)
[\[09/22\]](#)
[・修飾](#) [・行筆](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.22 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもニッポン](#) > 2012年09月アーカイブ

彼岸に

[Tweet](#)

[Check](#)

お彼岸は日本独特の風習だそうですね。
煩惱や迷いに満ちたこの世のことをこちら側の岸を此岸（しがん）というのに対して、
煩惱を脱した悟りの境地、向こう側の岸のことを彼岸というだそうです。



この世は真、迷い多きものです・・・。



彼岸に参り、自分は顔も見たこともない先祖が眠る祖母の実家の墓。でも、自分も僅か
ながらもその死者と同じ血が流れている。

もとはひとつの家で兄弟であったにもかかわらず、わずかに世代が下るだけで枝の先は
ほとんど他人になっていく。

カテゴリ: [\[15\]日本・旅生《エピソード》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
[・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.22 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもニッポン](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.21

当地の食

[Tweet](#)

[Check](#)

越前県生は米どころでもあり、蕎麦どころでもあり、また日本海からは20kmほどと海
産物どころでもあります。





▲焼き鯖寿司

地元武生の鯖は生ゆがコブなどのスーパーで日常的に売られており、海産物も地場の魚が生きたまま売られています。



▲蕎麦畑で咲く蕎麦の花。

旅の中での食というものも重要な旅の要素で、非常に忘れ難いものになります。

半年強に及ぶ旅の空もいよいよ終わりに近づいています。

カテゴリ: [\[15\]日本・武生《エピソード》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
・食べ物系

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.21 | [バマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

12.09.20

異なる日常の中で

[Tweet](#)

[Check](#)

日本に来てから6日、ここは自分の(半年前まで生活していた)日常とは違う場所。もちろん、半年間過ごしたアジア諸国とは違い日本国内だから、大きく文化や生活様式が違うわけでもない。

ただ、これまでこの地を訪れた時には日常の生活の場と違う西日本・北陸地方ということもあり、よそ者感覚(あるいは、お客さん感覚とも言える)をいつも感じていたのですが、この半年間を2週間位の単位で別な街へ行き言ってみれば「自分を馴染ませていく」という生活をしていきたいが、そういった意味での違和感というものは今回あまり感じずにいます。





それとは違う違和感が一体何なのか・・・日本に対する違和感なのか・・・。

カテゴリ: [\[15\]日本・武生《エピソード》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.20 | [ボーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[美しいながらも不思議な](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.19

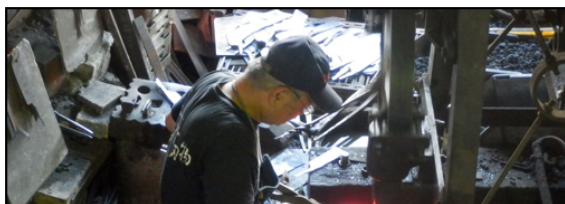
菊と刀

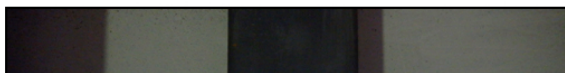
[Tweet](#)

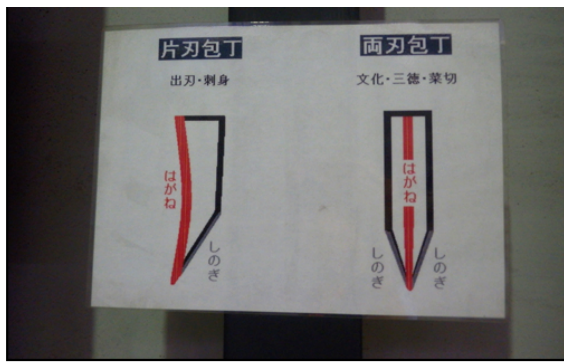
[Check](#)

台風一過、天気も良かったので少し周辺に出かけてみました。自転車でも8km離れた場所にある越前の里と呼ばれるところに行ってきました。今日は中でも越前打刃物の工房兼販売所「タケフナイフビレッジ」と小さな植物園と武生鞠人形の制作なども行う「万葉菊花園」です。

南北朝時代にはじまり700年の伝統があるという打ち刃物は、近年では中国などの海外からも注目を受けるそうです。







しをぎを削るの語源ともなった、しをぎとはこのこと。もとは刀なのでそうです。



ご当地ナンバープレート。

もう一か所訪れた、万葉菊花園では、過去の「たけふ菊人形」のポスター展も開催されていました。





10月に開かれる節人形祭りのための節の栽培がおこなわれていました。



ひとつのことを洗練させていくような文化というのはほかのアジアの国々とはまた違う日本の文化的性格だなあと改めて感じました。

やっぱり日本人の自分には、別え海外に半年行ってたとしても、日本人の見方しかできませんが海外の人の目から見たらどのように映るのでしょうか・・・。

カテゴリ: [\[15\] 日本・秋・《エピソード》](#)
[\[09/14-09/23\]](#)
[・ 訪問記](#)・[雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.19 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深い夜からもーン準](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.18

土砂降りの午後

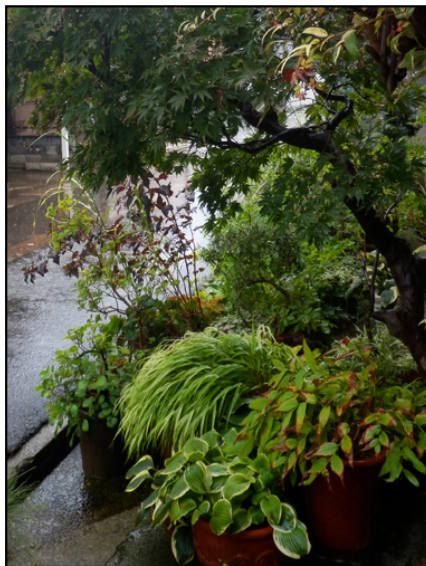
[Tweet](#)

[Check](#)

北陸地方は温帯低気圧に変わった台風の影響でバケツをひっくり返したような雨模様です。

今年の梅雨を経験していない自分には久しぶりに見る本格的な日本の雨です。





ここに来てから連日30℃超えの気温なので、一雨降って少し涼しくなってくれればいいのですが・・・。
こんな日は一日家でんびりです。
おかげで祖母と久しぶりにゆっくり話しをすることが出来ました。

カテゴリ: [\[15\]日本・旅生《エピソード》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.18 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもーん堂](#) > 2012年09月 アーカイブ

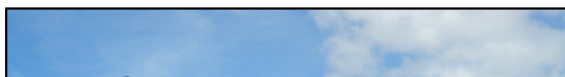
12.09.17

散歩道

[Tweet](#)

[Check](#)









人が殆どいません。

カテゴリ: [\[15\]日本・武生《エビロック》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
[・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.17 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーん堂](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.16

縁日

[Tweet](#)

[Check](#)

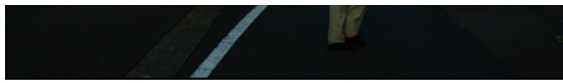
昨日のことになりますが、武生地元の神社で聞かれているお祭りがあると聞き今年初めて(そして、恐らく今年最後になるであろう)お祭りを見に行きました。





正直日本に住んでいながらこう言った地域密着のお祭りを見るのは初めてでした。
その場にいる人の多くがご近所さんや近くの商店さんなど、恐らくみな顔見知りなので
あろうことは会話や雑談りでなんとなく分かりました。





今回自分が見た範囲では人もまばらなとてもこじんまりとしたお祭りのように見えたのですが、あとで祖母に聞いたところ、以前は屋台の敷も所せましと並び、人も地元だけでなく方々から電車で大勢が訪れるようなお祭りだったのだそうです。

カテゴリ: [\[15\]日本・武生《エドログ》](#)
[\[09/14-09/27\]](#)

[- 訪問記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[遅いながらもーン亭](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.15

日本入国「11カ国目」-武生-

[Tweet](#)

[Check](#)

日本「入国」後の感想は違和感、スシ。それに尽きます。港に響いて大阪の都市部を抜ける列車の中、繁華街の雑踏。

自分の話す言葉が通じる。どこを見ても日本語が書いてある。読めるし意味が理解できる。見知らぬ人が雑談で話している内容が分かる。出国前の日常が感覚的なことも含めて非日常化している。いいかえると「新鮮」とも言えるのかもしれませんが。



そして、自分は今、北陸地方にある福井県の越前市（以前の武生市）にきています。半年前、旅立ちの時からここに来ることは計画していました。ここには母方の祖母が暮らしていますが関東からは遠いため年単位でなかなか会えないということもあり神奈川の自宅へ帰る前に寄ろうと考えていたのが初めてでした。

半年アジアを巡って今は、ここに来ることなくして自分のフィールドワークは終わらなと思っています。

それは、いきなり神奈川の自宅の隔れば恐らくすぐにも帰国前と同じように、感覚も大きく違わず日常が始まるのですが、アジアでの感覚がまだ新鮮なうちに日常の場とは違く、都会とも違う日本（所謂昔ながらの日本的な所が残っているであろう場所）を見てみたい、見る必要があると感じるようになったからです。

自分の日常の場ではないことで、改めて「アジアの一角、日本」で何か気付いたり、感じられるものがあるのではないかと期待しています。





と言うことで「自宅に帰るまでがフィールドワーク」という言葉に甘えつつ、いましばらく旅の望を続けたいと思います。

カテゴリ: [\[15\]日本・旅生《エビログ》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
・[雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.15 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深い夜からムーン夜](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.14

日本帰国 --(0)

[Tweet](#)

[Check](#)

日本の地を踏む日の朝。
13日の夜には日本の瀬海に入り、ずっと瀬戸内海を航行しています。





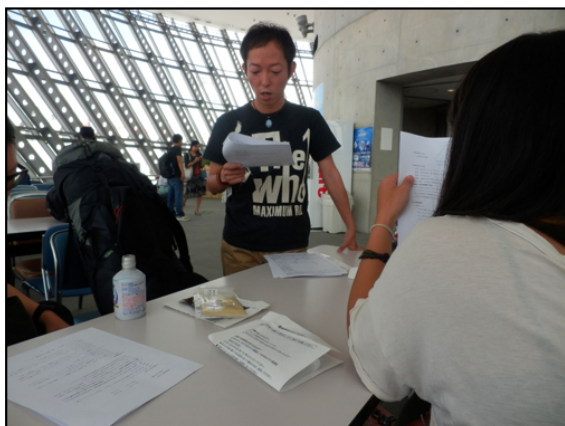


明石海峡大橋を過ぎ、大阪湾に入り南港は間もなくです。

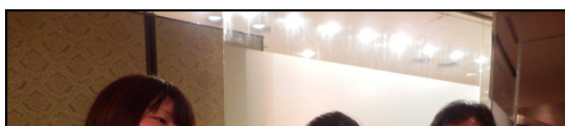
見覚えのあるターミナルに・・・



富田先生と研究科の鈴木さんでした！ありがとうございます。



一か月強ぶりの富田先生。今後の日程についてのブリーフィング





無事の帰国を祝って皆で久しぶりの和食。
理事長、富田先生、山田先生、ご馳走様でした。

フィールドワーク2012、7期生全員大きな事故などなく無事に帰国を果たしました。
これまで応援して下さいましたすべての皆様、ブログをご覧下さった皆様本当にありがとうございました。
正直まだ帰国して日本にいるのだという実感がまだあまり湧いていません・・・。
▼

家に帰るまでがフィールドワーク。自分の旅は・・・もうちょっとだけ。
続きます。

カテゴリ: [\[15日本・就生《エビログ》](#)
[\[09/14-09/22\]](#)
[・エビ](#)
[・エビ](#)

post by 池田 薫彦 | 日時: 2012.09.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーン亭](#) > 2012年09月 アーカイブ

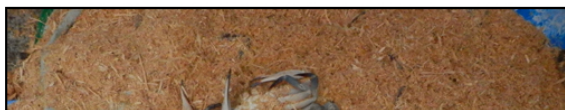
12.09.13

■ 帰途の船路へ --(1)

[Tweet](#)

[Check](#)

日本への旅立ち。最後のチェックアウトを済ませたあと、集合時間まで間があったので、昨日来たばかりで今日帰ることになる山田先生と市場や周辺の商店街を駆け足で歩いて回りました。

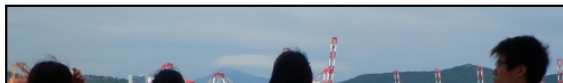
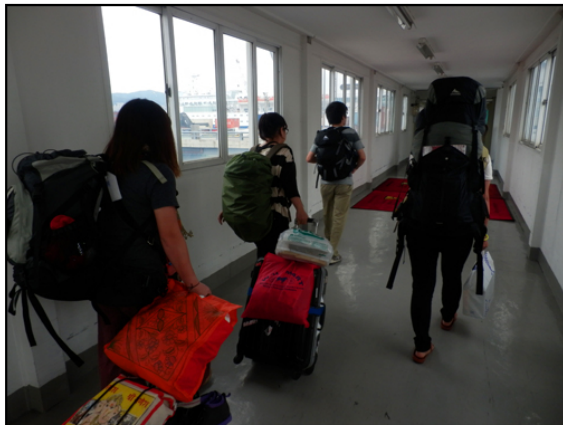
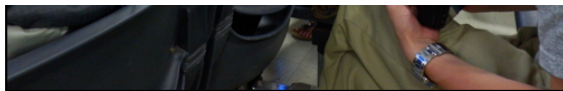






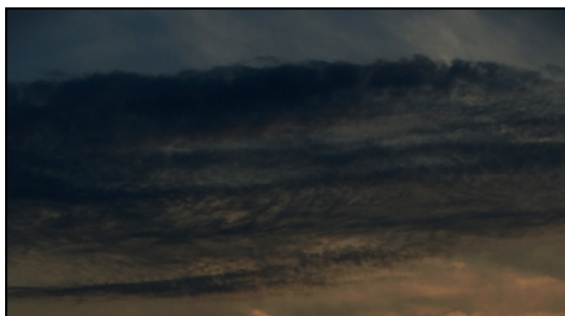
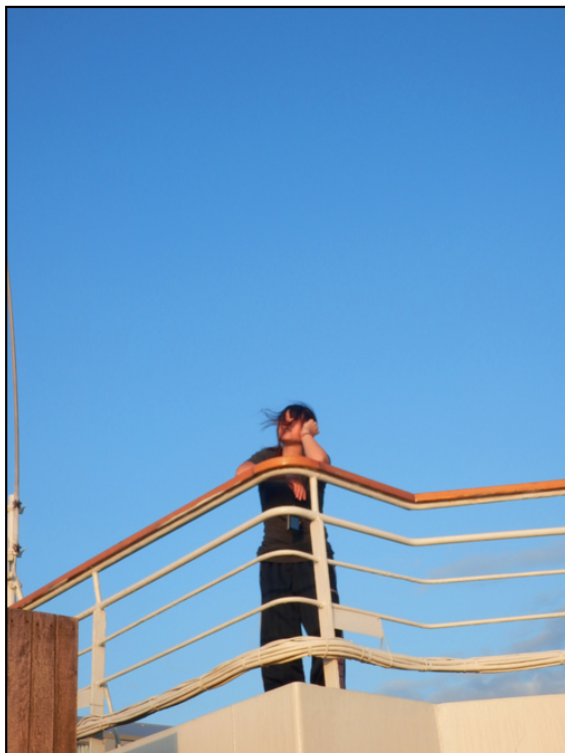
そして、いよいよホテルを離れ、国際旅客ターミナル（港）へ、フィールドワークのスタートの地であるとともに、締めくくりの地でもある釜山ともお別れです。







ここで山田先生から、フィールドワーク開始時に書いた、「半年後の自分へ」の手紙を手渡されました。
半年前の自分からの贈り物。あの時から半年・・・





半年間に及ぶフィールドワークの最終夜をバンスタードリーム号船上で迎えています。
泣いても笑っても、明日の午前10時にはいよいよ日本・大阪南港に到着です。

12.09.12

ぶさんだよ全員集合 --(2)

[Tweet](#)

[Check](#)

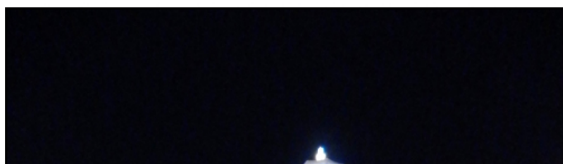
再集合日。みんな無事に指定泊ホテルに暮くことが出来再会を果たしました。

引率の山田先生と理事長の宋先生がホテルの集合部屋で出迎えて下さいました。
それから皆でご飯に。



焼き肉をたらふくご馳走になりました。宋先生ご馳走様でした。

食後、はじめて登る釜山タワー。地上120mのタワーです。





閉館間際にもかかわらず、多くのカップルでにぎわう……。ああ。





あ、ここにもカップルたちが♪

明日はいよいよ帰国の船に乗ります。フィールドワークいよいよ終幕へ。
ちなみに、出航は15:10です。

カテゴリ: [\[14\] 酒類合戦](#)
[\[09/08-09/13\]](#)
[・行部](#)・[食べ物写真](#)

post by: 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.12 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーツ堂](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.11

ここはずせない--(3)

[Tweet](#)

[Check](#)

アニョハセヨ。今日は地下鉄を乗り継いで絶対にはずせない(笑)ここへ行ってきました。



出国前日に行って以来約半年ぶりの水族館です！

釜山駅から地下鉄1号線（オレンジライン）と2号線（グリーンライン）を乗り継いで1時間ほどのところにある「釜山アクアリウム」という韓国最大といわれる水族館です。時間はかかっていますが運賃は日本円で100円ほどです。

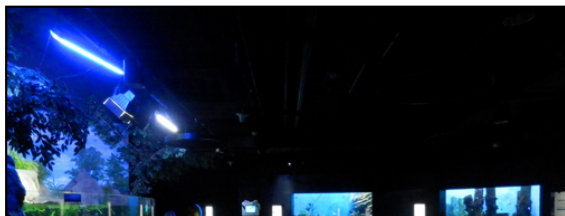


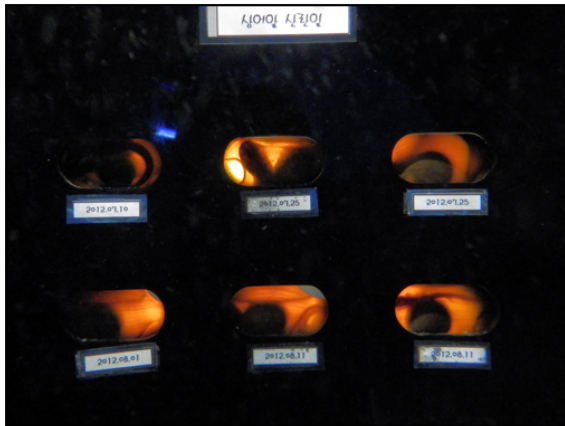


▲サカサクラゲ



▲お馴染みズクラゲ





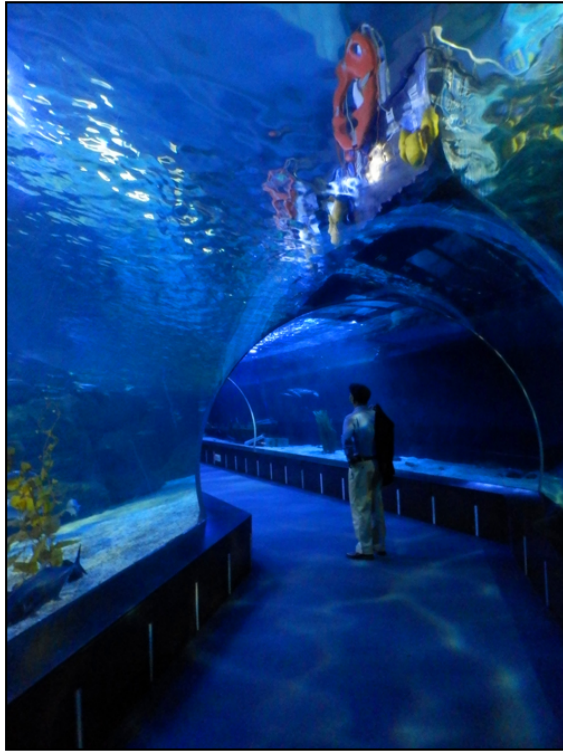
▲サメの卵（生体で発生過程を展示）



▲メインの大水槽をラウンジスペースから



▲二番目に大きな水槽。



▲大水槽下のトンネル。



大水槽では給餌ショーが行われていました。人との対比で泳いでいる魚の巨大さがお分かりかと思いますが。

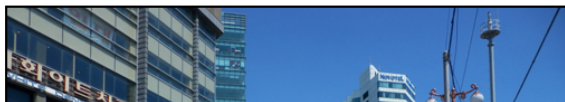
釜山水族館は海岸(海雲台海水浴場)に面した地下スペースに作られた水族館です。規模としてはえのすい(新江ノ島水族館)の屋内部分とほぼ同じくらいかなと言うのが見てきた実感です。一通り見るのに1時間半～2時間と言ったところですが、実際には色々観察したり、写真撮ったりするのでもっと長い時間楽しめます。



▲ピングドラム?



水族館前の海。湘南の海と言われても納得しそうな感じの海。





なんとなく似てます、江ノ島の前の鎌倉街道に。

釜山の印象としては、横浜+鎌倉+江ノ島のような雰囲気と言ったらいいでしょうか。釜山駅前のメインロードと国際旅客ターミナル(旧)付近は横浜の中区のような雰囲気、メインロードから山側の商店街が広がる辺りは鎌倉の小町通り、そして今日行った海岸付近は江ノ島の片瀬海岸のような感じ。なので、個人的にはすごく落ち着くというか、慣れた場所にいるような気持ちになりました。

明日はいよいよ再集合。3週間ぶりに皆がそろいます。そして引率の方にもお会いできそうですよ。たのしみです。

カテゴリ: [\[14\] 酒集合韓国](#)

[\[09/08-09/13\]](#)

[・訪問記](#)

post by: [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.09.11 | [バマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもーン堂](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.10

南浦洞界限 --(4)

[Tweet](#)

[Check](#)

連日の移動で疲れたので夕方になってから買い物に出かけました。

ホテルから徒歩5分圏の南浦洞の衣料品中心の商店街です。



メンズからレディースまで、また靴やベルトなどのファッション小物のお店などが軒を連ねています。基本的にはどのお店も商品に値札が付いていないのですが遊安で有名なこの店では全商品に値札が付いていて、外国人でも気軽にまよめ買いが出来ます。





タメージーンズが日本円換算で1000円以下から。



ウインドーショッピングも含めて何軒も回って楽しんでみました。日本で買うのとあまり値段が変わらないお店も多いので、じっくり回って掘り出し物を探すのが楽しい買い物かもしれません。



イカキチ。3000W(ウォン、約210円)、野菜とイカの和え物。野菜リッチでとってもヘルシー。

カテゴリ: [\[14\] 酒菜合韓国](#)

[\[09/08-09/13\]](#)

[: 雑記](#)・[食べ物写真](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.09.10 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーんず](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.09

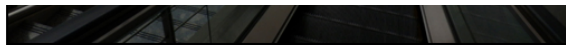
「最終」再集合地釜山へ --(5)

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日は到着が夜になったこともあり仁川国際空港近くのホテルに泊まり、今日はソウルから釜山へと移動しました。





仁川国際空港は、ソウル中心部・ソウル駅から離れた島にあり、KTXがあるソウル駅へは空港鉄道で移動できます。空港鉄道は各駅停車と直通があり直通はW8000(ウォン、約560円)です。



所要時間は各駅が53分、直通が43分。



電車が島と本土を結ぶ橋付近に差し掛かると平上がった海らしき場所が見えて、ここが本島に島の上だったのだということが分かりました。

ソウル駅はKTXのほかにも地下鉄等複数の路線が乗り入れています。



KTXは韓国版新幹線で、半年前にも利用しました。車両の番号で100番台1000番台などで停車駅・所要時間が大きく違ってきます。





5分置き位に出発があり、多くの人利用しているようでした。ソウルから釜山という韓国北から南、端からはしま行って料金は日本円で3000~4000円という値段なので、人の交流にはさぞ寛容しているのではないかな、と個人的な感想を持ちました。



半年前は釜山から同じルートでソウルへ来ました。

釜山着。



あいにくの雨模様。
そして、ソウルほどではないにしても湿しいです。

これから集合日12日までのんびりと、観光などしながら過ごそうと思っています。

カテゴリ: [\[14\] 酒桌合韓国](#)
[\[09/08-09/13\]](#)
・ 移動

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.09 | [バナーリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

[新しいながらもーン準](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.08

ラストのフライト --(6)

[Tweet](#)

[Check](#)

台湾から韓国まで移動の日でしたが、高雄の空港から出るチケットが取れなかったので台北（桃園国際空港）まで行って飛行機移動です。

前回は台湾鉄道（台鉄）の特急で台北まで行きましたが、今回は高铁（台湾高速鉄道）を使って高雄（左営駅）から台北（桃園駅）に行きました。

左営駅は高雄駅から台鉄（新左営駅）とMRT（地下鉄）で通じていて、高铁と合わせたターミナル駅になっています。





今回はネットでクレジットカード払いをし、機械で受け取り。オンラインカード払いは10%引きになってお得でした。予約コードと、予約時に入力していたパスポート番号の下四けたを機械に入力して受取完了です。



日本の新幹線のような車両。





最高時速約300kmで、桃園駅まで1時間40分。



桃園駅では、中華航空とエバー航空のチェックインサービスがあり、荷物預けと航空券の発券がここで出来てしまいます。わざわざ、重い荷物を持って空港内を歩き回らずに済みます。



空港まではシャトルバスが10分置き位で出ていてNT\$30元（ニュータイランド、約100円）です。



出国手続きがさっさと終わってしまったので時間が沢山余り、朝食もパン一枚だったの

ぐんぐんに量減っていくもつを。鮮正飯。



数々飛行機を使って移動してきましたがそれも、これでこの旅最後です。国移動も電車に乗ると変わらないと思えるほどにはなれました（場合によりビザとか事務的なことが必要なことがあるにせよ）。



半年ぶりの韓国。今年二度目の入国はとってもあっさりしたものに感じられました。

カテゴリ: [\[13\] 酒造産物](#)

[\[08/31-09/08\]](#)

[\[14\] 酒造産物](#)

[\[09/08-09/13\]](#)

[移動](#) [食べ物](#)

post by 池田 薫彦 | 日時: 2012.09.08 | [パマリック](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーん亭](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.07

残りジャスト1週間 --(7)

[Tweet](#)

[Check](#)

いよいよカウントダウンと言う感じですね。

高城実業最後の日でしたが、疲れがたまっていたのでゆっくりしていました。

ですが、あるものを求めて、地元のスーパーへ。





そのあるものと言うのがこれです。



冬瓜糖と書いてありますが、これを溶かすと冬瓜茶になります。フィールドワークに来てから結構どの国でも缶入りで売っていたのですが、もともとは台湾の飲み物だということです。自分はこれにはまってしまい、せっかくなので「もと」を買っていくことにしました。ひと圓まり500gでNT\$35（台湾ドル約100円）これひとつで5Lほどの冬瓜茶が出来上がります。

さて、明日はいよいよ韓国に移動となります。

カテゴリ: [\[13\] 酒類&台湾](#)
[\[08/31-09/05\]](#)
[・日記](#)・[食べ物等](#)

post by 池田 薫彦 | 日時: 2012.09.07 | [パマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(Q\)](#)

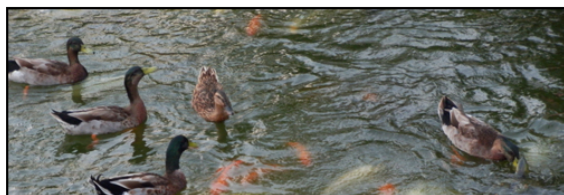
[深いながらもーツ亭](#) > 2012年09月 アーカイブ

12.09.06

最後の写真

[Tweet](#)

[Check](#)





上から見る鯉はやっぱりいいですね。



この場所はずもと製糖工場の敷地内が公園のようになっている場所になります。茶屋が地元民の憩いの場になってカラオケをしたり談笑をしたり・・・ゆったりなばしょです。自分も交じて談笑。

工場の煙突等の建屋は、前回の撮影の直後に壊されたということです。今手元に残っている自分の写真がまさに最後の姿となったようです。地元の人「台湾はこういうものを残すのが普通だから」と言っていました。が旅の間にもこのようなことがあるとは思いませんでした。

カテゴリ: [113 酒類撮影台湾](#)
[【08/31-09/05】](#)
・撮影

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.06 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーツ準](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.05

食は源泉

[Tweet](#)

[Check](#)

しばらくともなものが食べられず、撮影での疲労がなかなか回復していません。いつもであれば、ここまで疲労していませんがやはり食べるものを食べられないと回復が遅いようです。

当たり前ですが、食は生き物の基本。パワーの源です。

筋肉を使った後の肉体的疲労の回復にはタンパク質がいいのでしょうか不足気味。

糖質不足がここまで明らかに肉体的感覚に変化を及ぼすとは・・・重要性を再認識です。

今日あたりからようやくともなものが食べられるようになったので、少しずつ回復しますかね。

ということで、比較のお腹にやさしい蕎麦が今日の食事です。
トッピングに出汁の染みた油揚げとわかめ、きゅうり、大根おろしが付いています。





台湾にもセブンイレブンがあるのですがここには簡蒸やつげ燕、おにぎりといった日本式の食事も数多く売っています。

カテゴリ: [\[13\] 酒饌影台湾](#)
[\[08/31-09/08\]](#)
: [雑記](#)・[食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.05 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーン草](#) > 2012年09月 アーカイブ

12.09.04

トラウマなのか

[Tweet](#)

[Check](#)

息が苦しい、息が出来ない。足が、身体が・動けなくなる。

痕跡。欠片。積み重ねられてきたものの欠片。
何もかも一緒になって再び大地と同化しようとしている。





朽ち果て弄ばれたその身をさらすより、一思いに消えてしまうこともまた悪いのかもしれない。

カテゴリ: [\[13\] 再撮影台湾](#)
[\[08/31-09/08\]](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.04 | [ブログリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[歪いながらもーん車](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.03

諸行無常

[Tweet](#)

[Check](#)

体調不良のために今日が台湾の再撮影初日となりました。しかしまあ相変わらず図形物が全く駄目で食べたいのに消化が出来ない感じです。

朝。久しぶりの台湾鉄道高雄駅。





約半年ぶりの南州です。

さっそく撮影地に行ってみると・・・？





更地。あっけないものです。瓦礫の形骸がそこかしこに。本当に、本当にあっけないので
すよねころいうのって・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・長い間その地にあっても、そしてそこに色々な歴史や物語が
あっても、それこそ一瞬のうちになくなってしまふ。

それが世の常だ、と言えはそうなのですが。

カテゴリ: [\[13\]酒城能台造](#)
[\[08/31-09/09\]](#)
、[こ絶壁](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.03 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーツ書](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.02

バックバックの安全対策

[Tweet](#)

[Check](#)

大事を取って今日も休養したおかげで、体調はおそらくほぼ元通り。食事は液体だけが
が。

これまでの旅でずっとやってきたバックバックの安全対策。

これも自作のワイヤーで、構造は以前ご紹介した部屋などでの安全対策用ワイヤーと同
じ。
太さが細めで2mmの物を使用しています。これをバックバック全体にもとから施してあ
る穴や各種引っ掛ける部分に通し線を掛けます。線は100円ショップのもの。





全体がワイヤーで引き絞られているので、上蓋のフックを外しても開けられません。この上からレインカバーを被せて完了です。
空港での預け荷物の防犯対策はもちろん、ホテルで置き荷物として置いておく時も万全です。ホテルに置く場合はこれプラスで荷物用ワイヤーを使用して部屋の固定物に縛り付けています。

アメリカやヨーロッパなどの一部路線では預け荷物は鍵をかけないよう（あるいは専用のカギを使用）になっていますので、恐らく通用しませんが、今回の半年間はこのままで問題なく移動できました。

カテゴリ: [13 再撮影台湾](#)
[\[08/31-09/08\]](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.09.02 | [バマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[深いながらもーん亭](#) > 2012年09月アーカイブ

12.09.01

旅での経験を生かして

[Tweet](#)

[Check](#)

体調不良のまま再撮影台湾1日目です。

症状がネバルでの食中毒（推定）の時と同じなので、前回の経験を生かして、今回はあらかじめ体外に出た段階で日本から持ってきた「正露丸」を使って抑え整えていく作戦にしました。もちろん、食事は取らずに、水とジュースなどの水分でエネルギー補給です。その甲斐あって、早くも症状は治まりつつあります。食事を取った場合戻ってしまう可能性が高いので、しばらくは液体の摂取で調整して行きたいと思います。

再撮影の実期間は泣いても笑ってもあと1週間です。





カテゴリ: [\[12\] 酒城影台湾](#)
[\[08/31-09/08\]](#)
・雑記

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.09.01 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)